第一コンサルタンツ創立 50 周年記念式典・祝賀会

右城　猛

１．はじめに

株式会社第一コンサルタンツは、昭和 38 年 11 月 29 日に第一測量有限会社として矢野利男氏によって設立創業された。

満 50 歳を迎えた平成 25 年 11 月 29 日、ホテル日航高知旭ロイヤルに第一コンサルタンツの社員、家族、OB、来賓ら 200 名が参集し、50 周年記念式典と祝賀会を開催した。

会場となったホテル日航高知旭ロイヤル

ホテルの 1 階ロビーに設けられた受付。式典と祝賀会の会場は、受付の右側のエスカレータで上がって 3 階のゴールデンパシックの間。

受付係りは第一コンサルタンツの女性社員

式場の入り口で第一コンサルタンツの役員と家内が並んで来賓を迎えた。

司会者はホテル日航高知専属の川人唯さん。私が知っている限りでは、これまでで最も上手。式典が始まる前のリハーサルも手抜きしない。さすがはプロ中のプロ。

式典が始まる 30 分前の 16 時 30 分から第一コンサルタンツの歴代社長、創業時代の様子、社員旅行などの思い出の写真、そして平成 27 年完成予定の新社屋のイメージパースがスライドショーでスクリーンに映し出された。

２．記念式典.

17 時より記念式典。第 6 代目社長の私が主催者挨拶。50 年のいろいろな思い出を挙げ、「厳しい時に力になってくれたのはここにいる皆様方だ。50 周年の節目を次のスタートと考えている。第一コンサルタンツは優秀な社員、信頼できる仲間、信用という３つの宝に恵まれた。この宝を大切にし、さらに大きく膨らませたい」と感謝の言葉を述べた。

創業者で第 3 代目社長の矢野利男氏と 5 代目社長の小田義人氏に感謝状を贈呈する。初代社長の亀谷棟司郎、2 代目社長の石川貴泉、4 代目社長の新名義弘は他界している。

来賓挨拶をされる愛媛大学理事・副学長の矢田部龍一先生。

来賓の挨拶をされる一般社団法人クリエイト四国の福田昌史理事長。

３．祝賀会

この式典のために、村山保先生が「祝賀会所感」(竹魁作)と題する漢詩を作詞して披露して下さった。

創立悠々五十年
県下逸材集此莚
右城博士情無限
業績向上豈偶然

艶のある大きな声で漢詩を吟じられる村山先生。御年 94 歳とはとても思えない。先生は、高知県技術士会の初代会長で高知県橋梁会 2 代目会長。

主賓の皆様と第一コンサルタンツ役員による鏡開き。

乾杯の音頭は汲田浩男副社長

升酒で乾杯。発声は汲田浩男副社長。

第一コンサルタンツ 50 周年のために特注した升。100 個用意したが希望者が殺到。

社印や来賓はシャンパンで乾杯。

最高の高級料理でおもてなし。

会場には「カツオのたたき」「おでん」「ぜんざい」の屋台も出ていた。

豪華な料理には満足していただけたものと思う。

来春の採用予定者 8 名の紹介。

社員を代表して設計 1 部設計 1 課の斉藤啓太主任が 100 周年に向けての決意表明。

決意文をいただく。

決意表明した西村修係長、三浦貢一係長、斉藤啓一主任、兵頭学主任人と握手

会場の様子。

西川徹取締役部長夫妻

フォークディオ「OTOGI」の金子裕則氏と河村泉兵衛氏。高知県観光特使でもあるお二人が、九州からわざわざ駆けつけてくれた。

昨年の 7 月に台湾に行き、坂本龍馬を大好きと言う李登輝元総統の前で歌った「RYOMA からの手紙」と「友へ」の二曲を熱唱してくれた。

抜群の歌唱力に驚かれた方は少なくなかったようである。

昨年が龍馬脱藩 150 年。それを記念して作られた「友よ」を熱唱する OTOGI(お伽)

本山町からは、よさこい鳴子踊りチーム「本山さくら」が駆けつけてくれた。踊りに先立ち挨拶をされるチームリーダーの岩本氏。

サブリーダーの中野氏らが鳴子踊りを披露してくれた。第一コンサルタンツは平成 20 年から「本山さくら」の地方車製作に協力している。平成 20 年から 5 回連続「地方車奨励賞」に輝いた。これは、よさこい祭り史上初の快挙。

舞台で踊るのは初めてであったと思うが、観客に感動を与える素晴らしい出来映えであった。

宴もたけなわに。

親睦会による大抽選会。第一コンサルタンツ賞(10 本)、坂本龍馬賞(10 本)、乙女ねえやん賞(10 本)、親睦会賞(5 等、4 等、3 等、2 等、1 等) 、特別賞の豪華景品が用意された。第一コンサルタンツ賞は、本山町名産の「天空の郷」「嶺北牛」「焼き肉のタレと椎茸」のセット。本山町出身である私と明坂宣行取締役がくじを引いた。

くじを引く中島淳子さんと司会役の兵頭学主任。

坂本龍馬賞は、坂本龍馬記念館の森健志郎館長と OTOGI のお二人、乙女ねえやん賞は、愛媛大学の中島淳子さんと、前社長の英子婦人、そして家内の 3 人がくじを引いた。

乙女ねえやん賞に大喜びする佐藤尚孝氏。

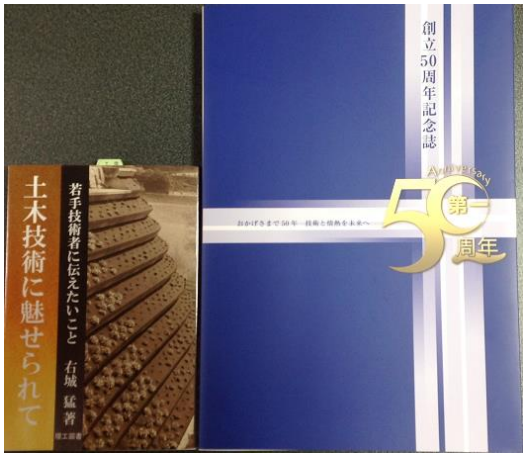
筆者と高知県立坂本龍馬記念館の森館長

福田昌史理事長と矢田部龍一副学長

高知県測量設計業協会会長で構営技術コンサルタントの橋口孝好社長と設計 3 課の橋口理沙さん。

予定の時刻(19 時 55 分)となったので、西岡南海男専務取締役が、「50 周年を迎えることができたのはひとえに皆様方のおかげ。今日いただいた祝辞やはげましの言葉を胸に 100 年企業をめざし、信頼度ナンバーワンの会社として発展させていく」と感謝の言葉を述べた。

最後は、第一コンサルタンツ幹部社員が壇上に上がり、第一コンサルタンツが日本一のコンサルタントになることを祈念し西岡専務の音頭で万歳を三唱して締めた。



引き出物として配られた第一コンサルタンツ 50 年誌と筆者の自叙伝。この他に第一コンサルタンツロゴマーク入りの今治タオル、中納言の赤飯と饅頭も引き出物としてお渡しした。タオルは、帝国ホテルでも使用されているという値打ちもの。肌触りがとても良い。

オープニングのスライドショーで紹介した第一コンサルタンツの新社屋のイメージパース。

４．あとがき

来賓の皆様から、「あまりの盛大さに驚いた」「企画・演出が素晴らしかった」「感動した」「記念誌が立派なのには驚いた」などのお褒めの言葉をいただいた。

式典と祝賀会は、今年の 4 月から西岡南海男専務取締役を委員長に実行委員会を立ち上げて準備を進めてきた。周到な準備、事前の練習やリハーサルが成功につながったものと思う。

今年はかつて経験したことがないほど仕事が多い。そうした中にも関わらず社員の皆様のお陰で、成功裏に祝賀会を終えることができた。皆様に心より感謝する。